

令和3年度子ども・子育て支援推進調査研究事業

<調査研究報告書タイトル>

放課後児童クラブと放課後子供教室の一体型実施における連携に関する調査研究

<実施主体名>

みずほリサーチ&テクノロジーズ株式会社

【調査概要】

本調査研究では、放課後児童クラブと放課後子供教室の一体的な又は連携した実施に向けた自治体の取組状況や課題を把握し、市区町村における一体型の放課後児童クラブ及び放課後子供教室（以下、「一体型」と表記）の実施推進に資する情報の提供を目的として、一体型実施の推進・運営のポイントや取組事例を広く周知するための「放課後児童クラブと放課後子供教室の連携ガイドブック」を作成した。実施事項は以下の通り。

1. 検討会の設置・運営
2. アンケート調査
3. ヒアリング調査
4. 放課後児童クラブと放課後子供教室の連携ガイドブックの作成
5. 報告書の作成

【調査結果の概要と考察】

- 本調査研究にて実施したアンケート調査・ヒアリング調査の結果を踏まえ、各自治体における一体型実施の推進に向けた取組の方向性を以下のとおり整理した。
 - ① 新・放課後子ども総合プランが目指す方向性を理解し、地域の子どもの放課後の過ごし方として期待される姿を念頭に置いた一体型実施が推進されるべき。
 - ② 学校施設の活用に向けては、長期的視点を持ちつつ計画的に検討することが望ましい。また、一時的な利用を促進することも有効。
 - ③ 両事業の人材確保は、地域の未来を担う子どもの健全育成においても大切。
 - ④ 両事業職員・スタッフが協力しあえる体制の構築が求められる。
 - ⑤ 保護者や小学校、地域との情報共有・協議を通じて、地域全体で子どもの放課後を考える環境づくりが期待される。
 - ⑥ 市区町村において円滑な取組促進が図られるよう、都道府県が求められる役割を改めて認識し、果たすことが重要。
- 本調査及び令和2年度に実施した調査の結果を活用し、各自治体において一体型実施を推進する際に参考にしうるガイドブックを作成した。目次は以下の通り。
 1. 総合的な放課後児童対策の推進
 - (1) 一体型の放課後児童クラブ及び放課後子供教室とは
 - (2) なぜ一体型を推進するのか
 - (3) 一体型の実施に関する現状
 - (4) 一体型の実施に向けて
 2. 全ての子どもが安全・安心に過ごすことのできる放課後の環境整備
 - (1) 放課後児童クラブ・放課後子供教室の実施
 - (2) 多様な体験・活動を行うことのできる機会の提供
 3. 参考資料

以上